

矢沢地域情報誌

やまぼろし

No. 43
2023年3月1日
mail : yashinkai025@gmail.com

発行 / 矢沢地域振興会矢沢振興センター内 FAX 29-5480 印刷 / トーバン印刷株式会社

祝 花巻市消防団第四分団
設立百四十周年記念
実行委員長 神山 儀悦



花巻市消防団第4分団設立140周年記念を迎えるに当り、一言ご挨拶を申し上げます。

当分団は明治15年矢沢に若組と称する組織が本矢沢、槻ノ木を含む人員80名で、火災、盗



難防止に備えて結成されました。4分団140年の伝統を後世に

継承すべく有志により実行委員会を立ち上げ先人達の足跡を残す記念誌を発刊することを決め花巻市制50周年史「塵」を基に矢沢地域振興会のご支援と関係者並びに4分団が一つになって「伝統と継承」という記念誌発行に至りました。

長い時代を振り返りますと明治、大正、昭和、平成とそれぞれの変遷を経て昭和29年町、村合併に伴い花巻市が誕生し平成18年一

市三町が広域合併して未来に向け大きく発展しました。この間、歴代花巻市消防団長に3代目多田佐氏、9代佐藤憲一氏、15代多田昌助氏、17代富澤久和氏が就任され花巻市消防団の陣頭指揮を執った姿は第4分団の誇りとする所であります。

「災害は忘れたころにやってくる」と言われていましたが、現在は異常気象による集中豪雨や地震、台風による土砂災害が頻発している一方、少子高齢化による団員確保が難しいのが現状です。



消防団を取り巻く環境は厳しい状況ですが、140周年を契機に先人達の礎を引継ぎ花巻市消防団の活動が更なる発展を遂げられます事を祈念しご挨拶いたします。

- 感謝状贈呈者
- 元花巻市消防団長 富澤 久 和 様
 - 元花巻市消防団副団長 谷川 一 雄 様
 - 元花巻市消防団本部分団長 神山 満 様
 - 元花巻市消防団第4分団団長 佐藤 直 様
 - 元花巻市消防団第4分団団長 神山 儀 悦 様
 - 元花巻市消防団第4分団団長 本宿 勉 様
 - 元花巻市消防団第4分団団長 佐藤 茂 様
 - 元花巻市消防団第4分団団長 小原 實 様
 - 元花巻市消防団第4分団班長 佐々木 浩 様



感謝状贈呈者：右から神山満・本宿勉・谷川一雄・神山儀悦の各氏

- 花巻市消防団第4分団
設立140周年実行委員会
- 元花巻市消防団第4分団団長 神山 儀 悦 (委員長)
 - 花巻市消防団本部分団長 三上 一 広
 - 元花巻市消防本部消防長 石崎 信 彦
 - 元花巻市消防本部通信指令課長 古川 昇
 - 花巻市消防団本部分団長 佐藤 敏 行
 - 花巻市消防団第4分団団長 佐藤 峰 樹
 - 花巻市消防団第4分団副分団長 中野 将 市
 - 花巻市消防団第4分団団長 押切 幹 夫
 - 花巻市消防団第4分団班長 松葉 武 久
 - 花巻市消防団第4分団班長 富澤 康 司

ゼニタナゴ生存環境(岩手県天然記念物)の保全活動②

矢沢地域の自然保護を考える会 会長 菊池 統一

季刊「やまぼろし」第41号に掲載の標記保全活動①は自然観察会についての活動報告でしたが、今号では「ゼニタナゴの生態」についてのお話です。

ゼニタナゴの生態

ゼニタナゴはコイ目・タナゴ亜科で鱗数が著しく多く、美しい小魚で、コイ目にしては口ひげがありません。

体長は3年魚で8cm位、寿命は自然界で2、3年、飼育下で4年位。

オスは秋には鮮やかな婚姻色が頭部や体側に現れます。(生息環境で色は異なる。)

メスは秋(9月〜10月)にドブガイ(タガヌマガイ等)の鯉葉の中へ産卵し、孵化した仔魚は貝の鯉葉中で越冬し、翌春(5月〜6月)に貝体外へ泳出します。

ゼニタナゴはドブガイがいないと絶滅します。ドブガイは夏産卵し、幼生がカジカ類(ヨシノボリ等)のヒレに寄生

し成長、少し大きくなるとヒレを食いちぎり、泥の中で成長しますので、ヨシノボリ等の生存が必要です。

ヨシノボリは、初夏に産卵し、稚魚は水路を下り、海や湖沼で成長して、戻ってきます。

このように、ゼニタナゴはドブガイが生存できる泥のある水域で、ヨシノボリの幼魚が育つ、湖や海と水域がつながっている平野部の水草の繁茂した池沼や、これらに続く流れの緩やかな水路に分布し、食性は植物性(軟かい水草など)を主とした雑食です。

ゼニタナゴは稲作と共に繁栄した魚で、昔は鶏の餌でしたが、2004年には岩手(当会の管理地のみ)、秋田、宮城、福島、福島の4県の一部で確認されるだけになって、絶滅の危機にある種として、環境省は絶滅危惧種ⅠAに、花巻市はHAに指定しています。岩手県は生息地を県指定天然記念物に指定しています。大森山の山麓には昔ながら

の農業用溜池が多数残され、豊かな水辺環境と里山が形成されて、多くの水生生物(ゼニタナゴ、シナイモツゴ、ギバチ、ゲンゴロウ、金鮒等)が生息していましたが、地球温暖化の影響か?外来種の放流や侵入で、溜池ではアメリカザリガニが繁殖し、在来種が危機的状況にあります。

現在、多くの溜池の中で、ゼニタナゴ・シナイモツゴの生存が確認されている溜池はそれぞれ1ヶ所です。しかも、この溜池も、3、4年前にタリクバラタナゴが放流されたか?大繁殖し、ゼニタナゴの生存が危機的状態になっています。(次号に続く)



婚姻色のゼニタナゴ(雄)
出典: NPO 蕪栗ぬまっこクラブ

交通安全協会矢沢分会と母の会は、毎年1月から2月始めにかけ、交通安全年賀状を銀河モールに掲示しています。この手紙は矢沢小学校の児童300人と一緒に取り組んだ作品で、子供達の願いを是非理解して下さいとの熱いメッセージが込められています。

交通安全協会矢沢分会と母の会は、毎年1月から2月始めにかけ、交通安全年賀状を銀河モールに掲示しています。この手紙は矢沢小学校の児童300人と一緒に取り組んだ作品で、子供達の願いを是非理解して下さいとの熱いメッセージが込められています。



小学校コーナー

冬休み作品展

長い冬休みもあつという間に終わり、思い思いに取り組んだ作品を抱えながら、3学期も元気に登校してきた子ども達。教室では「こんな物作つたよ!」「何を研究してきたの?」「おもしろい!」と久しぶりの友達との会話が弾んだことでしょう。

そんな子どもたちの頑張りを皆さんにご覧頂きたく、各教室では毎年作品展が開かれ



来年度の1年生 (体験入学)



作品を見学する2年生

ます。今年もまた、冬を感じさせる作品がずらり。キラキラ光るスノードーム、お菓子の箱で作ったボードゲーム、雪だるまのオブジェ、スケッチブックを利用した様々な研究、手芸、木工作品等々：一つとして同じものは無い、子どもの数だけアイデアに溢れた作品が並んでいました。家族と一緒に取り組んだ子どもも多いのではないでしょう。か。長期休みの工作や自由研究は、お父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃんも一緒に取り組むことで、学校で学ぶ事のないその人の知恵や知識、工夫を伝えることができます。大人

にとつては当たり前前の事が、子どもにとつては目からうろこ!だったりするかもしれせん。まだまだ学ぶ事の多い子ども達にとつてそんなふれ合いは、とてもかけがえのないものであり、大きな財産となることでしょう。我が家ももつと様々な事に親子でチャレンジしていきたいものです。

中学校コーナー

児童生徒栄誉賞

栄光を讃える

2月9日、花巻市教育委員会は令和4年度児童・生徒栄誉賞受賞者を決定しました。矢沢中学校から表彰された生徒は次の通りです。
(敬称略)

【個人の部】

※丸数字は学年、()は主な受賞理由

◆太田 莉瑚 ②

(岩手県中学校新人大会柔道競技女子個人優勝)



【団体の部】

◆ソフトボール部

(岩手県中学校総合体育大会優勝)

- ・佐藤 七海 ③
- ・金澤 季樹 ③
- ・佐藤 綾音 ③
- ・小松 唯花 ③
- ・小原 幸音 ②
- ・佐藤 真帆 ②
- ・鎌田 怜花 ②
- ・森橋 聖千亜 ②
- ・八重樫 聖 ②
- ・佐藤 碧海 ①
- ・小原 佳朋 ①
- ・多田 心音 ①
- ・高橋 凜々子 ①

◆柔道部

(岩手県中学校新人体育大会女子団体優勝)

◆花巻男子ヤングクラブ

(全国ヤングバレーボールクラブ男女優勝大会 岩手県大会優勝)

- ・高橋 蒼生 ②

◆RISE

(岩手県U15クラブバスケットボール選手権大会)

- ・高橋 陽花 ②
- ・照井 柚琉 ②

受賞された皆さん、おめでとうございます。



わが同好会の紹介 16
矢沢書道教室

高橋 静子

矢沢書道教室のサークルは、毎月第二・第四水曜日午後1時から3時まで活動しています。先生は鈴木栄利さんにお願ひし、会員は現在7名です。墨をするとき「墨の香」はリラククス効果があるそうです。書道に興味のある方はどうぞ、会員募集しています。（掲示の作品は令和4年度矢沢地区文化祭に出展した力作です。）



私のひとこと
佐々木 優衣
(高校一年生)



私は、小学校3年生のころから「神楽」という伝統芸能をしています。私が神楽をはじめたいと思ったきっかけは母や親戚が花巻まつりやステージなどで舞っている姿を見てかっこいいと感じたからです。そこから、私も花巻まつりやステージで舞うようになり、たくさんのお客さんの前で披露することが楽しみにになりました。しかし、3年前くらいに

新型コロナウイルスが流行してしまい、神楽を披露する機会は中止になってしまいました。けれど、2022年には3年ぶりに披露ができるようになり、花巻まつりやたくさんのステージで舞うことができました。その中でも、胡四王神楽代表者としてインタビューもさせていただき、たくさんの思い出が作れた1年でした。この伝統芸能の「神楽」を岩手だけでなく全国にも披露していきたいです。今では伝統を受けついでいく若者が少ないので大きな舞台で披露し、たくさんの方々と伝統を受けついでいきたいです。

キッズ・わくわくスクール

花巻市社会福祉協議会矢沢支部では、令和4年12月27日に矢沢小学校の体育館でキッズ・わくわくスクールを開催しました。参加した児童29名は染師の近野昌広さんの指導で絵



柄の書いてあるトートバックに好きな色を塗り、「自分だけのトートバック」作りに励みました。

矢沢伝統芸能伝承



【編集後記】

新型コロナウイルス感染症が拡大し3年となります。最近では感染拡大が鈍化しているとはいえ、油断のできない状況にあり、一日の死者数が多くなっていることに不安を抱いている人も多いのではないだろうか。多人数が集まる行事やイベントに参加することに躊躇し、地区の行事を中止する現状はまだ続いています。収束が見えない中で致し方ないことです。中世のヨーロッパで度々大流行した疫病の黒死病（ペスト）は長い時で20数年続きましたが医学の進んだ現代ではそんなに長くは続かないと思います。そんな状況ですが、皆様のご協力をお願いいたします。（編集委員 松田 好隆）

次号は6月1日発行予定です。